

多良海道を往く

湯江宿

| | |
|------------|------------|
| 天神ノ尾城址 | 和銅寺 |
| 湯江宿 | 光宗寺 |
| 湯江宿上使屋跡 | 湯江神社 |
| 善神さん古墳 | 湯江の一里松跡 |
| 宇良村茶屋跡 | 湯江追分 |
| 川上神社 | 医王寺・神津倉大権現 |
| 街道坂道入口 | 殿ノ高野 |
| 大越 | 猪ノ塔 |
| 太良嶽大権現一ノ鳥居 | 長里の一里松跡 |
| 山茶花の茶屋跡 | 郡境石柱 |

山茶花上山

歩く海道マップ

01



多良海道とは

長崎街道多良往還・多良道
諫早街道などとも呼ばれ、

塩田宿(佐賀県嬉野市)間の総距離

ルートを指す。

途中、湯江追分からは

山あいのルートと有明海沿いのルートの
二手に分かれるが多良宿で合流する。
有明海沿いのルートを「竹崎街道」と呼ぶ。

⑦善神さん古墳



6世紀後半～7世紀初頭に築造されたと思われる。封土は失われ、玄室が剥き出しになっているが、元々は円墳であったと思われる。玄室は奥行約2.3m、幅約2.2m、高さ約2.3m。室内には古墳の名称になったと思われる、十六善神が祀られている。玄室や玄室への入口天井には線刻文様が施してある。諫早市内にある装飾古墳の一つ。

⑧湯江の一里松跡



一里塚は1里 = 36町(約3.927m)ごとに海道の両脇或いは片側に築かれていた。2間(約4m)四方程の石垣の上に一本の老松があったと言われる。平田川地蔵より北へ約400m進んだ場所にある。岡口堪忍場近くの一里塚より3里(約12km)。

⑨宇良村茶屋跡



釣戸の渡しがあった境川を渡り、約100mのところが丁字路となっており、ここに茶屋があった。現在は石垣だけが残っている。

⑩湯江追分



川上神社一ノ鳥居を北へ約100m進んだところの三叉路を言う。ここを境に山越えの多良海道と海沿いの竹崎街道が分岐・合流する。

⑪川上神社



寛平年間(889～897)の創建と言われ、祭神は豊玉姫命。境川・多良海道に隣接しており、交通の要衝と配水の要所の役割を担っていた。社殿は平坦な一等地にたたずみ、一ノ鳥居から拝殿まで一直線に延びる参道は趣がある。また、かつて境内に多良海道と竹崎街道の分岐・合流地点であった湯江追分があったと言われる。

⑫医王寺・神津倉大権現



医王寺と神津倉大権現は隣接しており、医王寺は天正2(1574)年に金泉寺がキリストンの焼討ちをうけ、再建のめどがたたずみ、舜恵法印が太良嶽大権現の御神体である釈迦・弥陀・觀音の三尊と金泉寺の本尊である不動明王を祀って金泉寺別院として金泉寺が再興されるまで御神体・本尊を安置していた寺院。神津倉大権現の由緒などは不明である。※写真は神津倉大権現本殿

⑬殿ノ高野



佐賀藩主や諫早領主の行列が山越えのため休息し、隊列を整え直した場所と言われる。

⑭太良嶽大権現一ノ鳥居



太良嶽大権現上宮への参道の一つで、鳥居を湯江のは成門兵衛が奉獻。明治7(1874)年の台風で倒壊したままになっていたが、平成29(2017)年に再建された。付近には、比丘尼堂跡がある。

⑮猪ノ塔



太良嶽大権現一ノ鳥居の近くの雜木林の中に建つ自然石の石塔。諫早家第4代領主茂真公の家来、山口伊左衛門が建立。伊左衛門は狩獵を好み、獣魂供養のために建立したと言われる。中央に「三界萬靈洪沐恩」とあり、最上部には梵字が刻まれている。

⑯長里の一里松跡



一里塚は1里 = 36町(約3.927m)ごとに海道の両脇或いは片側に築かれていた。太良嶽大権現一ノ鳥居より約400m進んだ小川内川の手前に一里松があったと言われるが、現在、その跡はわからなくなっています。小川内川に架かる「一里松橋」がその名残りである。岡口堪忍場近くの一里塚より4里(約16km)。

⑰山茶花の茶屋跡

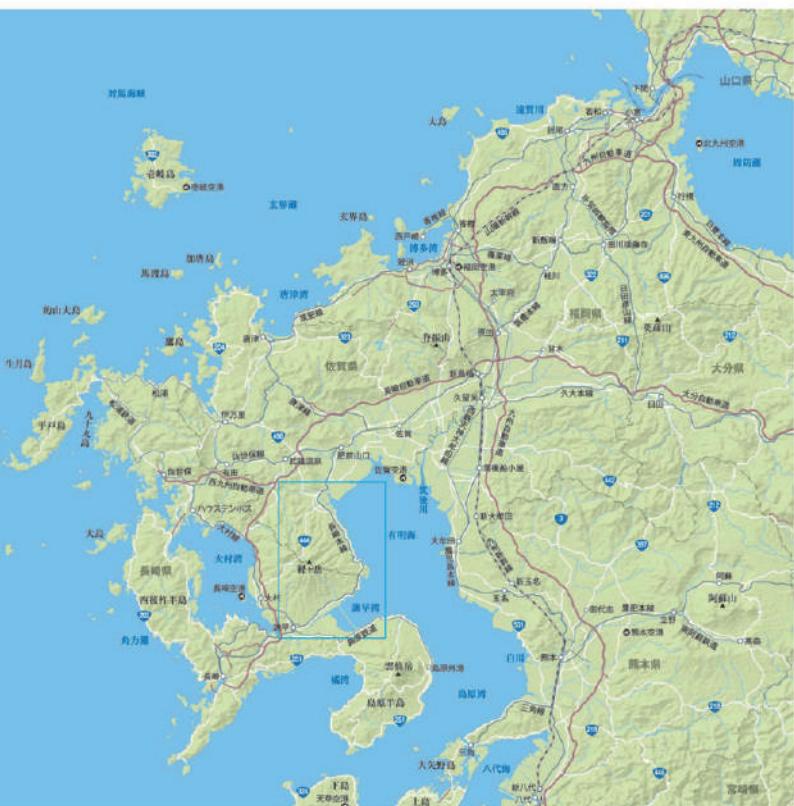


標高約380m、多良海道の中でもっとも高い位置にあり、「山茶花峠」とも呼ばれている。茶屋跡の東側の地名を水茶屋と言い、西側を山茶花と言う。かつては旅人が休憩するための茶屋があり、餅やトロロ汁をふるまっていた。

⑱郡境石柱



山茶花の茶屋跡から約200m進んだ場所に丘陵地に藤津郡と高来郡境をしめす石柱がある。明治4(1871)年の廢藩置県以降に勇志により建立されたと言われている。石柱には「從是/北藤津郡之内田古里村/南高来郡之内遠竹村」と刻まれている。現在は長崎県と佐賀県境となっている。



諫早までのアクセス



福岡市内から約1時間40分／九州自動車道→長崎自動車道→諫早IC
佐賀市内から約1時間10分／長崎自動車道→諫早IC



福岡市内から約2時間20分／博多駅交通センター→諫早IC
佐賀市内から約1時間20分／高速基山→諫早IC



博多駅から約1時間30分／博多駅→諫早駅
佐賀駅から約1時間／佐賀駅→諫早駅

太良までのアクセス



福岡市内から約1時間40分／九州自動車道→武雄北方IC→太良
長崎市内から約1時間／長崎IC→諫早IC→太良



博多駅から約1時間30分／博多駅→多良駅
長崎駅から約1時間10分／長崎駅→多良駅

お問い合わせ

**諫早市
(長崎県)**



〒854-0016
長崎県諫早市高城町5-10
(一社) 諫早観光物産コンベンション協会
Tel.0957-22-8325
<https://www.isahaya-kankou.com>

**太良町
(佐賀県)**



〒849-1601
佐賀県藤津郡太良町大字伊福甲 3488-2
道の駅太良 観光案内所内／太良町観光協会
Tel.0954-67-0065
<https://www.tara-kankou.jp/>

**多良海道
ホームページ**
<https://tarakaido.jp/>



◎令和3年3月発行
◎編集・発行／歴史の道観光・文化交流推進協議会
◎デザイン／(株)イーズワークス
◎印刷／(株)インテックス

①天神ノ尾城址



湯江川の右岸、和銅寺の門前近くにある城跡。現在は運動場になっており、城址としての面影は残っていない。

②和銅寺 十一面觀世音菩薩立像 龍造寺隆信墓碑



和銅元(708)年に開山した曹洞宗の寺院。本尊は行基作と伝えられる十一面觀世音菩薩で、長崎県有形文化財に指定されている。本尊は秘仏で60年に一度御開帳される。本堂東側にある行基の座像は「なで仏」と呼ばれている。

③湯江宿



諫早領内にあった5つの宿の1つ。多良海道や竹崎街道の往来する旅人、金泉寺や太良嶽大権現上宮への参詣者のために旅籠・木賃宿・酒屋・茶屋などが建ち並んでいた。「矢上早立ち湯江泊まり、明日は多良越え浜泊まり」とうたわれるよう、長崎からの旅人はここから鹿島藩浜宿、または竹崎街道を通り竹崎津(港)から佐賀城下や柳川などへ向かった。

④光宗寺



文禄元(1592)年、龍喜和尚が開山。和銅寺で仏道修行に努めていた龍喜和尚は、島原有馬の盜賊が攻め入ってきたとき村人を守るために寺に納めてあった鎧兜を身に付け応戦。その後、島原の神代へ移ったものの、のちに諫早領内で布教する許しが下り寺を建立。御堂を武田城跡に移し法城山龍喜堂とし、光宗寺と称した。

⑤湯江宿上使屋跡



寛文12(1672)年に建てられ、幕府巡見使や佐賀藩主などが休泊。母屋は茅葺屋根の武家造りで、中央に居間や寝所などがあり、南には弓的場、北東に武具庫や食糧庫が建ち並んでいたと言われる。現在は石垣と農地になっているが屋敷跡が残っている。

⑥湯江神社



老松神社の創建は鎌倉時代の建仁2(1202)年。太宰府天満宮から菅原道真公を分祀。かつては老松がそびえ、老松天神とも呼ばれていた。昭和41年に八幡神社と合祀。老松神社の神殿に祀られ、社名も湯江神社と改められた。



多良海道MAP

(湯江宿～山茶花峠)

- 海道 (徒歩可) (車一部不可)
- 海道 (両方通行不可)
- 迂回路 (両方通行可)
- ★ 誘導柱
- 歴史の道百選選定箇所



スマートフォンで
多良海道と現在地が
確認できます



〈歴史の道百選とは?〉

歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道・交通関係遺跡を「歴史の道」と呼び、文化庁が選定しています。令和元年10月に、多良海道の一部である、大越(諫早市高来町)～七曲～長坂～山茶花茶屋(諫早市小長井町)～船倉～矢答峠(佐賀県太良町)、小川原浦(諫早市小長井町)の2区間が歴史の道百選に選定されました。



